

コード	502031501
記入日	H22.6.10

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	網田 勝

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	上五島備蓄記念会館管理運営費
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	502	施策名称	生涯学習の充実	項コード	5
基本事業コード	50203	基本事業名称	生涯学習基盤の整備	目コード	4
事務事業コード	5020315	事務事業名称	上五島備蓄記念会館管理運営費	細目コード	
関連計画			法令・条例規則等	上五島石油備蓄記念会館条例	

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標					
(対象1)	全住民	(対象指標1)	23,719人(H21.4.1現在)				
(対象2)	利用者	(対象指標2)	77,647人(前年度実績数)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	適切な設備、機器等の保守点検を行った	*****	*****	*****	保守点検回数46回÷計画した保守点検回数46回	*****	
		①	保守点検回数	46回	100%		平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり実施できた。				
		*****	*****	*****	イベント開催件数5件÷計画したイベント開催件数5件	*****	
②	イベント開催件数	5件	100%		平成21年度		
(達成率分析)	計画どおり実施した。						
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)					
住民の文化活動や生涯学習を推進し、町の活性化を図ることを目的に施設の管理運営を行っている。また、催しものや各種イベントを開催することで利用者の増加を目指す。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	開館した日数359日÷開館すべき日数359日	*****	
		①	開館した日数	359日	100%		平成21年度
		(達成率分析)	計画どおり実施できた。				
*****	*****	*****	利用者数82,736人÷計画した利用者数77,647人(前年度実績)	*****			
②	利用者数	82,736人	107%		平成21年度		
(達成率分析)	前年度利用者数を基準に目標利用者を設定し、前年度利用者数を上回ることができた。						

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	184	184	138	46	46					
	② 件	23	23	18	5	5					
成果指標	① 日	359	359	359	359	359					
	② 人	324,382	330,471	247,735	77,647	82,736					
総事業費C(A+B)	千円	208,273	208,760	170,234	38,039	38,526					
直接事業費A	千円	152,273	152,760	128,234	24,039	24,526					
人件費B	千円	56,000	56,000	42,000	14,000	14,000					
内訳	従事職員数	人	8.0	8.0	6.0	2.0	2.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	208,273	208,760	170,234	38,039	38,526					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町の財産であり、当然町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町の施設である限り、町が維持管理する必要がある。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	文化祭、各種関係事業など町民の学習意欲の向上、施設利用の増加見られる。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	学習したことを活かす場の提供、社会課題に取り組む方向性の設定により向上する余地がある。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	施設の維持管理を適切に行わなければ、住民の文化活動や生涯学習に多大な支障を来す。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	類似施設がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	活動を行うために必要な計上であるためこれ以上の削減は出来ない。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	限られた人件費の中で効率を上げるよう努力しているところでありこれ以上の削減はできない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	条例に沿っており適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	計画を見直す必要はない。
		有効性	学習したことを活かす場を提供することで、利用者の学習意欲を高め有効性を上げることが出来る。
		効率性	計画を見直す必要はない。
	課題に向けた改善策	このまま事業を継続	
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	町民の公民館活動や読書活動を充実させていくこと。またエレベータ施設の設置などにより、各種イベント施設としての利用効果がさらに高くなっている。その使用に際しては支障がないよう適正に維持・管理に努めること。
効率性		経費の執行については、適正に行い節減に努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。